



3月

のびのびだより

3月号

社会福祉法人中央福祉会
げんきな森中央保育園
たんぼぼ組

いよいよ今年度も残りわずかとなりました。

鬼の面を被って、豆まき遊びをしたり、絵の具を手いっぱいにつけて、紙に色塗りを楽しんだ子どもたち。また、遊びの中で、お友だちとおしゃべりを楽しんでいる姿もみられるようになり、言葉のやりとりをする姿がみられていますよ。

暖かい日が増え、朝と日中の気温差によって、体調を崩しやすい季節です。子どもたちに寄り添いながら、今後も元気いっぱい遊びたいと思います。

今月のねらい

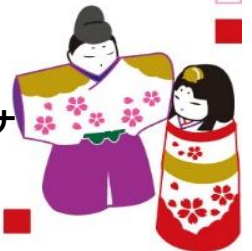
- ・季節の変わり目の時期を健康で快適に過ごす。
- ・虫や草花など自然物に触れながら春の訪れを感じる。
- ・友だちや異年齢児と一緒に戸外で体を動かすことを楽しむ。
- ・簡単な身の回りのことを自分でしてみようとする。

♪今月の歌♪

- ・チュールリップ ・うれしいひなまつり
- ・ちようちよ

☆今月の絵本☆

- ・どうぞのいす
- ・じいちゃんバナナ
ばあちゃんバナナ



鬼は一そと、福は一うち

2月2日(金)に豆まきをしました。鬼をみつけたとたん、泣いたり、保育者の後ろに隠れたりしている姿が見られました。子どもたちの中には、勇敢に豆ボールを投げたり、鬼と握手している子どもたちもいましたよ。

豆まき後には、「こわかったよー。」「あつちから、おに、きたー。」と話している姿も見られ、子どもたちが感じた気持ちが伝わってきました。



鬼だ!



ペタペタ

水たまり、気持ちいいな!

園庭に出ると大きな水たまりが。子どもたちは、裸足になって水たまりに入ってみたり、飛び越えている姿がありました。「先生見てねー。」とジャンプしてみたり、「一緒に遊ぼう。」とお友だちに声をかけ、楽しんで遊んでいましたよ。

気温も暖かく、とても気持ちが良さそうでした。



4月当初は保育者と一緒に靴を履いたり、服を着脱していた子どもたち。今では、「自分で履く。」「自分で着る。」と言って、自分で身の回りの事をしようとしている姿があります。

自分でできた時には、保育者も一緒に喜び、子どもたちと一緒に嬉しさを感じる事ができました。

1年間、たくさんのご理解、ご協力ありがとうございました。ひまわり組さんになっても、「何事にも諦めず挑戦してみる。」という気持ちを持ち、すてきなお兄さんお姉さんになってほしいなと思います。